

令和 6 年 第 1 2 回委員会会議録

1 開催年月日 令和 6 年 6 月 20 日（木）

2 開閉会時刻 開会：午前 10 時 30 分 閉会：午前 11 時 6 分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 稲員委員長、大石委員長職務代理者、江藤委員、石井委員

5 事務局職員 事務局長、選挙課長、庶務係長

6 傍聴者 なし

7 議 題

（1）報告事項

① 令和 6 年度福岡市明るい選挙啓発ポスターコンクールの実施について

（2）その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和 6 年 7 月 5 日（金）午前 10 時 30 分

・令和 6 年 7 月 22 日（月）午前 10 時 30 分

・令和 6 年 8 月 5 日（月）午前 10 時 30 分

8 議事次第（○：出席委員、▲：事務局職員）

（1）報告事項

報告事項について、事務局から資料の説明・報告を行った。

（2）その他

・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

【質疑等】

○ 新聞に記号式の投票用紙のことが載せられていたが、世界的に見ても記号式は大勢を占め自書式の方がまれである。記事の中で驚いたのが、全国で 216 の自治体が記号式で選挙が行われているということ。日本の選挙は、国政選挙と地方選挙で投票方法が異なり制度的に難しいところもあると思うが、記号式の方が様々なメリットがあり、まずは地方の首長選挙から記号式を導入するなどして、地方からも声を上げていくべきではないか。

▲ 地方選挙で記号式を行う場合、県の選挙であれば県で、市の選挙であれば市で条例を制定する必要がある。記号式の課題として、告示日に立候補者が確定するまで投票用紙の作成が行えないため、告示日の翌日からの期日前投票には

間に合わせることができない。そのため現行制度では、記号式は期日前投票な
どでは行うことはできず、当日投票に限られている。
○ 選挙公報の配布が期日前投票の開始に間に合わない問題も同様であるが、立
候補者の届出を早めに締め切るなど制度改革を行い、記号式の導入に向けた検
討が必要ではないか。